

## DX Corner

1958年1月号

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく。昨年は目の廻るようなビッグニュースを追いかけるのに忙殺されたかのような感がありましたが、本年もどんなものが出現するか予測は困難なことです。いかなるものが現われようとも即座に対応できるように背水の陣をかまえておきたいものです。さて本号から本欄の内容をHAM、SWL欄とも各バンド別にまとめることになりましたので、皆様からのご報告もバンド毎における状況を整理してお送り下さるようお願い申し上げます。

(編集部)

## HAM セクション (J.S.T.)

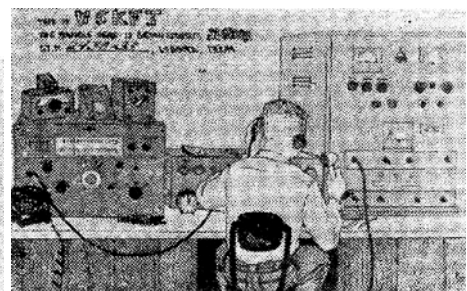
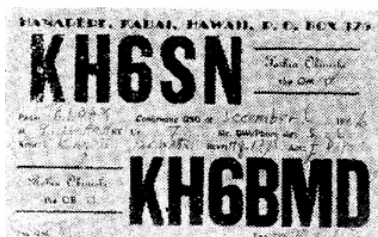
## 40M バンド

このバンドにおけるDX QSOはCW、FONEともまともな方法では不可能に近い。FONEでは7100kc すれすれの所でコールする方法がよく用いられているが、CWでは7010kc前後で送信し、相手局から7100kc前後の混信のない所を選んで送信してもらうのも一方である。JA8AEとJA5AIおよびK6DVとの毎週月曜日の2100からのスケジュールはこのような型式で行なわれている。JAにおける7000~7100kcのライセンスは全く悲劇的のものであるが、最近ヨーロッパにおいてはアマチュア・バンド内で商業放送が始められ、JAのそれより更に大混雑を呈している模様で、アマチュア局からの猛烈な抗議が出されている。

DL-QTCのeditorであるDL1CUからの報告によると、昨年1957年2月からRTF(Radio Diffusion et Television Francaise)が7050kcで商業放送を開始した。DL1CUは今までに二度にわたってRTFに対して厳重な抗議を申入れたのであるが、RTFからは何も返事はなかった。7000~7300kcはアマチュア無線に独占されたバンドであることを強調した覚書を却下したのである。更にこのバンド内で放送を行っているR. Monte Carloにも同じ要旨の手紙を送ったが、それに対する解答もなかった。事実そのために、このバンドの上の方は使いものにならないし、またRTFはこのバンドの中の最も重要な7000~7100kcを占有しているのである。彼等は7Mcバンドを使用することを少しも躊躇していないのである。

かつて3.5Mcバンドでもこのようなことがあり、その追放に大いに成果をあげたが、今度はこれらの浸入者を抹殺せねばならない。吾々がやっていることは如何に事態の重大なことであるかがおわかりのことと思う。それには全世界中のハムの団結が必要と感ずるのでJAの親愛なる皆様方のご協力を得たい。そして吾々に成功がもたらされるよう確信をもっている。

とDL1CU Felix氏はJAからの援助を希望している。全く無茶な話と思われるが、JAの7000~7100kcしかな



第1図 沖縄のハム局 (JA1CV氏提供) 第2図 ハワイのハム局 (JA1BAX氏提供) 第3図 アメリカ・テキサスのハム局 (提供)

いと同じような結果になるのでは、さぞ欧州の 7Mc マンも切齒扼腕していることであろう。直接ご支援のかたは DL1CU Felix, STUTTGART BOX 585, GERMANY 宛。

秋田の長野谷氏の最近コピーされた 40m バンドの DX 局は CW では UA4CH, UB5IF, ZS6ADS, ZS6ARD, UA0KUV, UA3KNB, FONE では VK4PC, KH6CHU, VK4MF, XE2AM などである。

(能代市万町第 2 アパート 8 号 長野谷青史)

## 20m バンド

5 球スーパーにプリセレの RX で入感した Oversea の強力なものをひろってみると PY1HX, 0A4GW, LU2HAE, VS6AS, W5NGW, K5IGJ, KG61G, XF2DO, W6V0Z/KG6, LA4DD, I5FL, KL7CGA, SM5BUG, K9EWL, ZL1ACI, KW6CE, W8VVBG, HL2AM, KG6AAY, OK1VB, 他 W6, UA0, KR6 など。

AF が全くないのは残念であるが、昨年にくらべて condx も低下したようで、それに加えてこの RX の限界もあるようである。2330 をすぎたある夜、ZS??(入感なし) と QSO 中のバグキーでもものすごい速度で叩いているのは何度聞いても NK6HA, 聞いたことのないプリフィックスで S も小さいし、さては DX のニュー・カントリーかと心わくわく、受信をつづけているうちに、K6HAN とは全くがっかり。最近受取った QSL は PYINC, UA0KOA, K6HSZ で低調である。

(岩手県西磐井郡花泉町大通り 3 丁目 20 高木武志)

14Mc で QSO した UA のハム(ラジオ・スタンツェイエ)(カッコ内はソ連語の発音)UA0KOA から QSL が到着した。オペレーター(オペイラートル)はペトロ氏, QTH は中央アジア, タジック共和国(タジックスコエ・エス・エス・エル)のウラン・ウダエ市, TX(ペイレイダアチック)は 50W, RX(ペイレイユムチック)は 15 球スーパー, Ant(アンテナ)は半波長ダイポール, 半面にタジックの国章(ゲイレーベ)を配した UA の規格版?のカードである。.....ここまでは他の多くの UA 局となんらかわらないが、コールサインの下に書かれた、“全ソ連邦陸海空軍無線義勇協力会(ドサツアエ・エイ・ブウリャト・モンゴロエ・レースブウプリヤンスカ・コシム・テイエダエエー・ラジオグループ)”という長い文字が気になる。U.S.A. の MARS(Military Affiliate Radio System)とか、戦前の JA における HAM の愛国無線通信隊(国防無線隊)などはこれと同じものと推察されるが、後者に近いものであろう。

・



第 4 図 フィンランドのハム局(長野 谷氏)

先日ニューヨーク航路航行中のパナマ丸のオペである JA4LL/MM と交信できた。14Mc Fone で 59 で入感していた。TX は 807s で Ep 350V, Ip 40mA で Ant はレーダー・マストから引張った 20m 逆 L, QTH は北海道東北の北洋上で、目下台風 16 号に追われて 1 万トンの巨船もローリングに悩まされているとか、私にとって珍しい QSO であった。他に海外移動局としては、JA3XX(南米航路サントス丸), JA3ADX(欧州航路ラプラタ丸), JA6RH(鹿児島

島大学練習船) などがあるようだ。deJA8AH(札幌市南 17 西 5 の 3 三浦敦)

14Mc CW で入感したもののなかから珍しいと思われるもの。JT1AA(外蒙古), OA4AP, FB8ZZ, ZC5AB, VR4CW, VE1EP, OA7L, VK3YL, KS6AD, VP8CW, SV0WQ/crete, VK0AS, LU5ZC, HB9SS, UI8KAA, SV0WY, UC2AX, YU3AE/MM, FA9VN, 4X4BC, ET2US, ZC4IP, ZM6AS, ZC4AM, VS6AC。(長野谷)

近着の QST 誌上に掲載されているアクティヴな JA 局は 20m の CW では JA1ACU, JA1BC, 1QI, 4AF, 4AH, 6CI, 8AH, 0GG などが W7DJU と交信し, JA1AHC, 1VE, 5AI は W7DKH と, JA1AC, 1CC, 3AZ, 3UI は W7GYR と, JA2WB, 4KM, 7HL, 8GA, OBI は W7YAQ と, JA4AG は W6ZZ と, JAIBIQ が W3CAZ と, JA3BB は WIYNP と, JA3QY は KL7BPK とそれぞれコンタクトとしている。

## 15m バンド

過日 Fone で DUIGF と QSO できたが、DUIGF George Francisco 氏はかつて JA-DU の 50Mc における 1st QSO の栄与を得られ、最近では 21Mc に主力を注いでおられる。QTH は BOX356, MANILA, で伊藤忠商事のマニラ支店に勤務され、1951 年に現地に帰化されたいわゆる日系フィリピン人で、勿論日本語は 100%OK である。対日感情の悪かった数年前までは JA との QSO はある程度控え目にせざるを得なかったが、好転に伴い FONE で日本語が使えるようになり JA との QSO が何よりの楽しみとのこと。Rig は 807s に入力 45W, Mod 807pp AB<sub>2</sub> クラスのロパワーであるが、キュービカル・コードの偉力で RS59 の FB さである。RX は S-pro BC779 にトリオの SIGNAMAX および Xtal CONVERTER.....と全く自分の RX と同じなのには思わずニヤリ。Mic はフィルコの外にリオン、アイワなど JA 製も愛用しておられる。手許にあったオルゴールで新内流しのメロデーを電波にのせたところ非常に懐しがられ、話題は歌の話に QSY.....。時々“浜辺の歌”をハーモニカで吹いたり、“槍さび”をうなったり、また“大東亜共栄圏の歌”や“軍艦マーチ”などの勇ましい曲もまだ忘れていない.....等々、話は尽きない。こちらはストーブにうんと着込んだ防寒態勢で頑張っているのに対して、マニラでは 100°F の室温の中で半裸で QSO とはうらやましき限り。

かつて VHF による JA とのコンタクトの際 VHF-AJD を目指したが、ついに JA8 ができなくて残念であったとのこと。以前より 6m に興味をもってはいたが、はからずも DU よりエキサイトされる結果となった。

今後の VHF にと JA8 の VHF マンの 8AO, BU, CC, CF, CJ, CX, GO などを紹介しておいた。最近このバンドで QSO できた局としては JA6AK, 6PK, ZL1AMM, VK9SP, CN8BP, 3V8AB, SP8CK, OH60E, G5BJ, DJ2LK, EA7CA, VE3CFU, KZ5CP の他 W 地区 55 局 (このうち 70% は East Coast) いずれも 569 ~ 599 で安定した QSO ができた。とくに早朝がよい。WAS は QSO 36, QSL 31 となった。(JA8RAH)

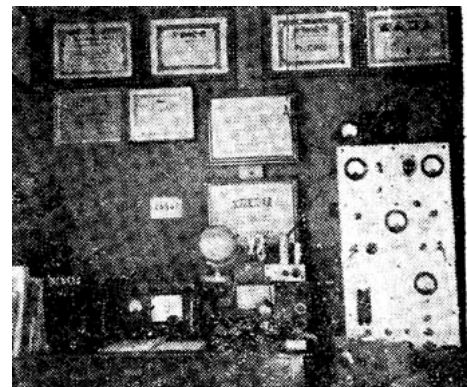
## 10m バンド

Fone では DU7SV, W0BLU/KG6, LU3CI, DL1SP, ON4VV, 0Z4FA, ZL3RB, ON4SZ, SM5TR, G2IT.

CW では ZE3JO, OZ7of, DL1GV, ON4PA, DL7AA, UA3AC, DJ3EZ, DL1AG, UA6UF, PA0RE, OK3DG, G6XA, UB5UW, ON4VO, UA0KSB, UA2KAA, UA9KCE, G3CLW, ZC5AL, VK6RV, ZL1SM, UA0KAD, JA1AAA などが入感した。RX は 5 球スーパーに Q マルチ, Ant は 20m 長ダブレット, 高さ 12m。(長野谷)

## ハム近況報告

JA5AF: まずシャックの写真をご覧下さい。壁にはずらりと各賞が掲げられている。上左より JCC, WAC, FONE-WAC, WAJA, 中段左より RCC, WBE, JAC, その下が全四国交信賞, そして目下申請中のもので間もなく入手できるものに WAVKCA(オーストラリア), CAA(アルゼンチン), DUF(フランス), OHA(フィンランド) など。Rig は右の三段ラックの白いパネルは 807s 807AB<sub>1</sub>MOD の送信機。インプット 50W で、特徴は 3.5Mc ~ 28Mc のバンドが 30 秒以内で QSY できること。その左は二年ほど前に本誌に製作記事を公表したシングル・スーパー, その他がダブル・スーパー, 地球儀の右は JAC 賞カップ。DXCC は A<sub>1</sub> で 106 カントリー, A<sub>3</sub> で 58 カントリー。Ant は AWH 型ビームを使用されている。(Editor)



第 5 図 JA5AF 氏のシャック

## SWL セクション (G.M.T.)

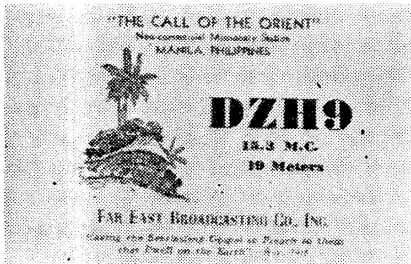
SWL セクションは今回からニュース、プログラムなどを 2 ページ、解説や技術的文章に 1 ページを使うことになりました。このためニュースの形式が変わりますので、今後レポートはこの新形式でお送り下さい。

新形式は誰れでも簡単にレポートできるものですから、印象に残った局のプロ等お寄せ下さい。時間は今まで通り G.M.T.(グリニッチ標準時) を使用いたしますが、G.M.T.=J.S.T.(日本標準時)-9 時間です。但し、日本語プロに限り J.S.T. を使用します。受信状態は SINPO コードを使用しております。これについては近いうち解説するつもりです。

なお、レポートの〆切は毎月 15 日ですから、10 日頃お出し下さい。

## 日本語プロ

9510kc . 北京放送局の日本語放送が S-5 I-5 で少々 QSB を伴いながら受信できる。プログラムは J.S.T. の 0600 ~ 0630, 2000 ~ 2030, 2115 ~ 2200 および 2230 ~ 2300 の 4 回で、パラに 11945kc が使用されている。毎週水曜日に次週の主な番組予告があり、レポートに対しては受信証の外、質問に対する答えなどをタイプで返答してくれる。(鈴木実)



第 6 図 フィリピンの Call of the Orient(静岡県・石川氏提供)

9730kc . フィリピンの Far East Broadcasting Company の日本語プロは、2000 ~ 2030 に SINPO44544 で良好に入感している。(Ed.) この局は 0630 ~ 0715 に 31m, 25m, 19m バンドで、1230 ~ 1300 と 2000 ~ 2030 に 31m, 25m, 19m 及び 16m バンドで日本語プロを放送している。なお 31m は 9730kc, 25m は 11855kc, 19m は 153300kc, 16m は 17805kc で、第 3 回の 2000 ~ 2030 に 15300kc は SINPO-55544 で入感している。(鈴木実)

15310kc . イギリス B.B.C の日本語放送が SINPO-45544 で受信できる。プログラムは 1800 ~ 1815 に直接のもの 21490kc, 21630kc および 25750kc, シンガポール中継は 11725kc と 15310kc . 2000 ~ 2030 に本国直接のもの 21490kc, 21630kc 及び 25840kc, シンガポール中継は 15310kc で放送されている。(鈴木実)

## 音楽プロ

7215kc . 台北の BEC 27 は AFRS, FEN 等と同様音楽プロが多いが、1200 ~ 1230 には軽音楽プロが SINPO-44544 で受信できる。(Ed.)

9540kc . ニュージーランドの ZL2 はいつも良い音楽プロで楽しませてくれる。0915 ~ 0930 のクラシックが SINPO-34543 で若干 CW の QRM を受けながら入っている。(Ed.)

9640kc . 京城の HLKA は昼間 9655kc に出ている NHK の中継の下で聞えているが、この局もふんだんに音楽プロを放送している。状態も良く、0315 ~ 0330 のクラシックの時間には SINPO-55545 で楽しめる。(Ed.)

9745kc . エクワドルの HCJB の南米音楽プロは 1100 ~ 1115 に放送されている。この頃から状態は良くなり、SINPO-55545 で入感している。(Ed.)

[注] この項は音楽プロを楽しむためのもので、混信もあまりない局をレポートして下さい。レポートは周波数、局名、時間、SINPO、音楽の内容(例えばクラシック、軽音楽、アラビア音楽等)だけでよく、もし正確な曲名の解っているものはそれも書いていただければ FB です。(Ed.)



第 7 図 Radio Vatican

## 英語ニュース

9660kc . オーストラリアの国内向英語ニュースは ,0900 ~ 0910 に全ての国内短波局によって中継されている . VLQ9 はこの頃良好で SINPO-55545 , 9680kc の VLH9 も SINPO-55545 で入っている . (Ed.)

11670kc . Radio Thiland の英語ニュースは 1030 ~ 1045 に SINPO-43543 で入感している . (石川正衛)

17840kc . Radio Sweden の英語ニュースは 1401 ~ 1406 に SINPO-34533 で入感している . (Ed.)

6165kc . スイス SBC のヨーロッパ向プロが 1845 頃 HER3 で SINPO-33533 で入感している . この時間は独語?プロで , パラに HER4 9535kc が出ている . (高久田稔)

7210kc . 同じく 1845 に開始する英国・アイルランド向プロは , SINPO-35543 で受信できるが 1900 頃より Jamming の QRM を受けることがある . 英語プロで , HEU6 9665kc とパラ . (高久田稔)

9009kc . The Voice of Zion 4XB31 が 2145 ~ 2230 に受信できる . 英語プロで SINPO-33443 であるが , 時々強い電信の QRM を受ける . (宮入源太郎)

2015 より SINPO-44444 で入感 , 2000 ~ 2015 は Koll Israel の英語ニュースが聞かれ , 2015 より Kol Zion の中欧向プロに変わる . 2030 に国歌 “Hatikva” の I.S が 3 回出で “Ici Jerusalem , Kol Zion Lagola , La Voix d’Israel” の仏語アナウンスがあり , 約 10 分仏語ニュースがある . (石川正衛)

9330kc . Dux Radio の本放送が 1950 頃に SINPO-35553 で入感している . プロの合間に “Dux Radio, Stockholm, Tangier” のアナが聞かれる . (高久田稔)

9630kc . Radio Canada が 0825 ~ 0915 にエコーと周期の短い QSB を伴いながら , SINPO-34433 で受信できる . プログラムは英語 . (宮入源太郎)

9760kx . Buenos Aires の Radio Belgrano が 2130 ~ 2230 頃 SINPO-34543 で入感している . アナはスペイン語で , アルゼンチン・タンゴ等軽音楽が多い . パラの 6090kc は低いビートを伴いながら SINPO-34543 で受かる . (白樫忠之)

9795kc . カイロ放送が 2215 ~ 2250 の終了までアラビア語プロを放送している . QSB が多少あるが , SINPO-44434 で良好 . 2248 に “Huma El Kahira” のアナウンスが明瞭に聞かれ , 2250 に国歌で終了 . (石川正衛)

11670kc . Radio Thiland の General Overseas Service は 1025 の開始から 1200 頃まで SINPO-43543 で受信できる , “This is Radio Thiland” のアナウンスが 1045 , 1115 , 1123 等に聞かれ , 1146 の華語プロ開始に先立ち , 「這是泰広播電台一発音勤務」の女性アナが聞かれた . (石川正衛)

11865kc . スイス HER5 で 2300 に開始するブラジル向ポルトガル語プロは , CW とビートの QRM を受けて SINPO-22442 で不良である . (高久田稔)

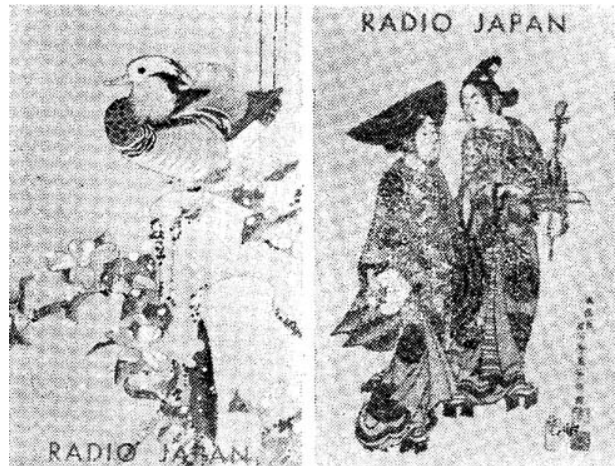
11925kc . Voice of Free Korea の英語放送が 0530 ~ 0600 に SINPO-45544 で受信できる . 0600 より朝鮮語プロになる . 内容はニュース民謡等で , コールは HLK6 . (白樫忠之)

15165kc . デンマークの極東向プロは相変わらず 0900 ~ 1040 に出ているが , 非常に状態が悪い . 火 , 木 , 土曜の 0900 に SINPO-2 ~ 31541 で混信はモスコーの国内向と海外向 , Radio Australia . 毎木曜の 0950 より DX News は依然放送されている . (石井 秀)

21450kc . Radio Prague のオーストラリア・ニュージーランド向が 0830 ~ 0930 に SINPO-45444 で良好に受信できる . 英語プロで , パラに 15180kc と 17810kc が出ている . (宮入源太郎)

21520kc . S.B.C のアフリカ向独語と仏語が 0515 ~ 0700 に放送されている . 0515 ~ 0600 に独語 , 0600 ~ 0700 に仏語で , 状態の良い日には開始から終了まで SINPO-45544 で入感する . 軽音楽が多い . (白樫忠之)

21540kc . WBOU のチェッコ向チェッコ語プロが 2200 に SINPO-33433 で入感 . “This is the Voice of America , broadcasting from Czechoslovakia” のアナで開始 .



第 8 図 Radio Japan のペリ (京都市・藤本氏)

第1表 Belian National B.C. Service(2月28日まで有効)

時間 (G.M.T.)	周波数 (kc)	使用語	コール・サイン	ビーム方向	備考
1000 ~ 1200	17845	F	ORU3	アフリカ	
"	21510	D	ORU4	"	
"	21715	F	ORU5	"	
1215 ~ 1300	15280	F&D	ORU5	南ヨーロッパ	
"	21510	"	ORU4	極東	
"	21715	"	ORU4	アフリカ	
1330 ~ 1500	17825	A	ORU3	"	日曜日のみ
"	21510	"	ORU4	"	"
"	21715	"	ORU5	"	"
1500 ~ 1645	17845	F	ORU3	"	"
"	21510	D	ORU4	"	"
"	21715	F	ORU5	"	"
1700 ~ 1745	15280	D&F	ORU5	南ヨーロッパ	
"	15335	"	ORU3	北アメリカ	
"	21510	"	ORU4	アフリカ	
1800 ~ 1900	15280	F	ORU5	"	
"	15335	D	ORU3	"	
"	17845	F	ORU4	"	
1900 ~ 2100	15280	A	ORU5	"	月, 木, 金, 土, 日のみ
"	15335	"	ORU3	"	"
"	17845	"	ORU4	"	"
2115 ~ 2300	9745	E	ORU5	南ヨーロッパ	
"	11850	D&F	ORU4	南アメリカ	
"	15335	"	ORU3	北アメリカ	
2315 ~ 0100	9655	E	OTC	北・南アメリカ	
"	9705	F&D	ORU3	アフリカ	
"	9745	"	ORU5	"	
"	11850	"	ORU4	"	

ORU3 と 4 は 100kW , ORU5 は 20kW , OTC は 50kW で各々送信 .

使用語は , F:仏語 , D:オランダ語 , A:アフリカ語 , E:英語である .

## 珍局

**4945kc** . フィリピンの新局 Voice of Education が 10300 頃 SINPO-44343 で受信できる . コールは DZP6 , 1100 に国歌で終了する . なお , 1030 ~ 1045 のダガログ語の時が一番状態がよい . (白樫忠之)

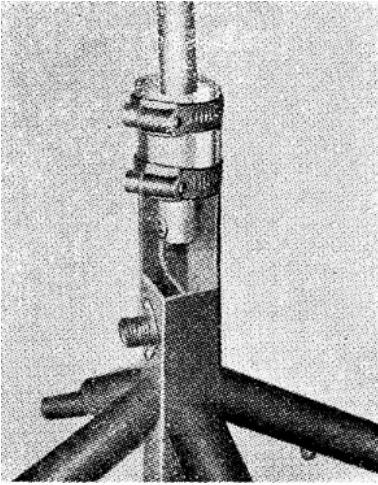
**5980kc** . TGAR Radio Quetzal が 2130 ~ 2200 に SINPO-34333 で聞える日が多い . 2130 ~ 2140 までニュース , それ以後は音楽プロを放送 . (間野栄一)

**5995kc** . HO5O . Radio Programas Continental は 2100 ~ 2300 の間に SINPO-44444 で強力に入る日があった . 連日リクエスト・プロが楽しめる . (間野栄)

**18640kc** . Radio Kabul が 1500 ~ 1600 に SINPO-35543 で入感する日がある . 1500 ~ 1540 は現地語プロ , 1540 ~ 1600 に英語プロ , 1600 以後ペルシャ語プロになる . 1500 ~ 1540 にしばしば局名アナウンス , “Da Kabul dai” が出る . (Ed.)

## DX コーナー MEMO

## グラウンド・プレーン・アンテナ



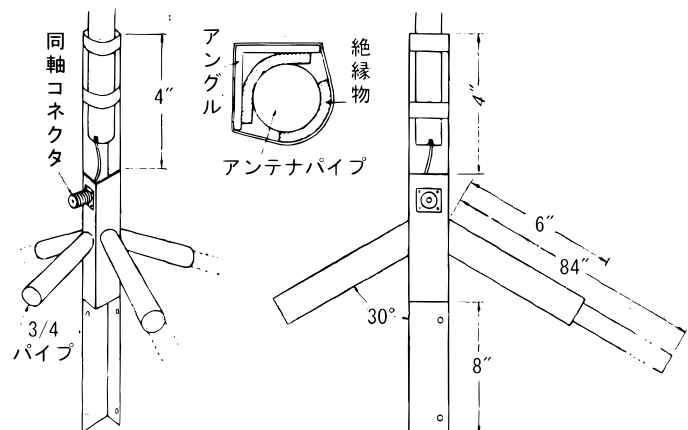
10m バンドも最近では朝方から午前中にかけて良好な DX が可能で、比較的ロー・パワーでも欧州方面とのコンタクトがよくできる。近い将来 JA の 2 級局にもこのバンドが開放されたときは大いに DX のスリルを味わうことができるであろう。DX には何といてもアンテナが物をいうことは百も承知のことであろうが、この簡単なグラウンド・プレーン・アンテナは非常に低角度に輻射を行うことができるので、10m 愛好者の好みに合った DX 用のものである。といっても、ローカル網用としても甚だ便利なものである。これとビーム・アンテナとを比較すれば時として 5 エレ・ビームよりゲインの多いことがある。低角度に発射されているためである。

構成は丈夫なエレメント 1 本と 4 本のグラウンド・プレーン・エレメントである。まず丈夫な鉄アングルを用意する。これは長さ 20 インチの 1 インチ 4 角のもので、厚さは  $\frac{1}{8}$  インチくらいのものでよい。これを 4" と 16" の二つに切る。そして短い方のものを長い方の一端から 4" の所に箱型になるように熔接する (第 9 図参照)。

4" のアングルの上から 1" の所に同軸ケーブルのコネクターを取付ける。下部になるアングルには支柱に取付けるため  $\frac{1}{4}$ " の穴を両面にそれぞれ位置をずらしてあけておく。放射状になる 4 本のエレメントの支えは長さ 6" 太さ  $\frac{3}{4}$ " の水道用鉄管を利用する。この 1 端は  $60^\circ$  の角度になるように切っておく。

他の一端にはエレメンを固定するために貫通した穴をあけるが、その穴は片方はビスの頭がすっぽり通るだけの穴をあけ、エレメントがこのパイプとしっかり接触するように締めつけられるようにする。この 4 本のパイプは同軸コネクターの下部に熔接する。

出来上ったこれらの金具には充分塗料を塗って錆止めしておく。アンテナになるエレメントはアングルの上部にアングルと短絶縁されるように絶縁物をはさみ (ポリスチロール板を暖めながらエレメントをつつむようにするとよい) 締付金具でしっかりと固定する。4 本のエレメントはそれぞれ  $8'4"$  でアンテナ・エレメントは  $8'3\frac{5}{8}"$  とする。このアンテナは木柱でも金属製柱でも高ければ高いほどよいが、木柱を使用した場合は静電的放電が確実に行なわれるように支え、金具が充分アースされるようにせねばならない。また金属柱のときも支え金具と充分接触するようにとめておかねばならない。



第 9 図

## 世界の窓は開かれている

オールウェーブ受信機の切換スイッチを SW(Short Wave) にしてダイヤルを廻してゆくと、今まで聞いたこともないような言葉や音楽がスピーカーから流れてくることは、短波の放送を聞き始めた時に誰れでも経験することです。日本ではほとんどの短波聴取者 (SWL) はこの何を話しているか解らない他国語には興味を示さず、クラシック、シャンソン、軽音楽、あるいは東洋諸国の民謡を聞き、この音楽と総称される世界共通の心の呼びかけに耳を傾けるのが普通です。

欧米諸国の聴取者はどうでしょうか？

例をヨーロッパにとると、ユーラシア大陸の一半島にすぎないヨーロッパの諸国は、自動車を飛ばすと数時間で隣国に入ってしまうという国が多いため、長波や中波でも近接諸国の放送が聴取できるわけです。もともとヨーロッパの言葉はラテン語にその源を発し、私達が聞いたのでは同系統とは思えない独語と仏語も独語 オランダ語 Flemish(ベルギー) 仏語と並べていくと、確かに同系統であることが理解できます。このようにヨーロッパは一国の面積がせまく、言葉も同系統で、英国を除けば陸続きという周囲の環境条件のため、知識階級は数ヶ国語を読み書きでき、かつ話せます。

以前文通していたスウェーデンのお医者さんは英、独、仏、スペイン、ポルトガル、オランダ、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド語等、10ヶ国語以上できるというので、当時は驚いたものですが、よく考えれば、これ等は同一系統の言葉であることが解るでしょう(フィンランド語はアジア系ですが、スウェーデンの隣国)。

東洋においては語源的には同系統に属していても、字や意味が複雑なため、近接諸国の言葉を10ヶ国語もできる人は恐らくいないと思われまふ。

南北アメリカ大陸の知識階級はヨーロッパの移民の子孫によって構成されています。結局、欧米諸国の聴取者はちょっと勉強していれば、長波、中波及び短波で放送している近接諸国のプログラムを楽しむことができるわけです。

目をアジアに向けると、言葉と放送との2大障害があることが解ります。日本人で中国(北京官語、広東語等あり)、朝鮮、タイ、ベトナム、ビルマ、インド、インドネシア語の一つでも知っていれば良い方で、ほとんどの人は英、独、仏語以上に知らないというでしょう。

日本は気候的環境条件も加わってアジアにおける近代国家として欧米文化に直結していますが、語学力のある人を除けば、日本語で書かれたものを読んでいる場合が普通です。また、中学、高校、大学と英語や独語または仏語を勉強する機会にめぐまれてはいますが、幸か不幸か一生それらの言葉を使わなくても暮せるため、本当に英語の読み書きができかつ話しのできる人は一生食べるに困らないといった状態です.....hi。

これらのことから日本人の世界観が日本語を媒介とした独自のものに陥ちいりやすく、何十年使っても表現のむずかしいこの言葉は、物事の本質より、言葉のニュアンスを問題にして論争しているという笑えない事態を招いています。放送の点でも日本短波放送が発足してから短波を聞く人が多くなったようですが、戦時中の短波聴取の禁止と言葉の問題のため、今だにせっかく世界の放送を直接聞くことができるのに、日本短波放送や北京、モスクワ等の日本語プロだけしか聞いていない人が多いのは残念なことです。

世界の国々は、中には放送波でしか放送していない国もありますが、大部分は短波で国内向に、また海外向に四六時中放送しています。

世界の窓は開かれています。私達が窓の中で何が起っているか、また何が起ろうとしているか、知ろうとつとめさえすれば.....

1台の短波受信機で古今東西の名曲に耳を傾け、世界各地で起った事件をいち早く知り、各国の歴史、文化等を知る機会が増し、あの国はどこにあったかな?と地図をいつも手元におくことによって地理の勉強にもなります。受信レポートに対して放送局から送られてくる絵八ガキ、ペナント、切手、地図、雑誌、本等から未知の国を理解することができ年期さえいれれば、居ながらにして放送による世界漫遊の旅を味わえるのは SWL(Short Wave Listener)の特権です。

この趣味の中の王者である短波放送聴取を楽しく、スムーズにするために、次回から個々の事項、例えば「放送局





---

は何局位あるでしょうか?」とか、技術的な「あなたの受信機はうまく働いていますか?」「アンテナは?」などについてお話しして行きたいと思います。そして1人でも多くの読者に世界の窓が開かれていることを知っていただくことが、SWL セクションの使命です。

de JAIBA . 石川俊彦